

第5次秋田県男女共同参画推進計画

一体的
に策定

- 男女共同参画社会基本法：県男女共同参画計画
- 秋田県男女共同参画推進条例：基本計画
- 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律：県女性活躍推進計画

推進の柱

① あらゆる分野における女性の活躍推進

② 健康で明るく安全・安心な暮らしの実現

③ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の強化

主な取組

(1)女性が活躍し続けられる職場づくりの推進

■若年女性に魅力ある職場づくりの促進

- 「あきた女性活躍・両立支援センター」のコーディネーターによる企業への取組実践等の働きかけや、アドバイザー（社会保険労務士）による一般事業主行動計画の策定やえるぼし・くるみ認定申請等の支援を実施



■経営者等の理解促進と女性の意識改革

- 女性活躍推進に対する理解促進や企業ネットワーク構築のための経営者及びマネジメント層を対象とした研修会を開催（県内3地区）
- 女性従業員のキャリアアップに対する意欲向上や企業におけるロールモデル候補となるための研修会を開催（県内3地区）



■企業表彰の実施

- 女性の能力の活用や、仕事と育児・家庭の両立支援等における取組が顕著な企業を表彰



■若年女性に魅力ある職場づくり加速化事業

- 女性の活躍推進に積極的に取り組む企業が行う職場環境の整備等への助成や、県独自の「えるぼしチャレンジ企業」認定制度により、えるぼし認定の取得を支援

■女性農業者が輝く多彩な起業活動の展開

- 多彩な起業活動への取組とその活性化を図るため、地域をリードする女性農業者を育成するとともに、女性農業者のネットワークを強化

■「秋田県建設産業活性化センター」による建設人材の担い手確保・育成

- 建設人材確保推進員を配置し、建設産業団体や教育・訓練機関等との連携による担い手確保に努めるとともに、女性の就業・活躍を推進

■観光業における女性の活躍推進

- 女性従業員の意識啓発に向けたセミナーの開催

(2)女性一人ひとりが活躍できる環境づくりの推進

■「あきた♡とも家事」の推進

- 女性に偏りがちな家事時間の削減や男性育児休業取得率の向上のため、家族やパートナーと家事を分担し、家事に主体的に取り組む「とも家事」を官民一体で推進

か
と
も
家
事

＜官民一体で推進する目標＞

- ◆ 男性の育児休業取得率
・2025年度までに 50%
・2030年度までに 100%
- ◆ 6歳未満の子どもがいる夫婦の1日あたりの家事・育児時間
・2026年度までに2021年度より 夫:プラス60分 妻:マイナス60分

■若年女性に魅力ある秋田での暮らし・働き方の発信

- 県内外の大学生が取材した秋田で働く女性の働き方やライフスタイルなどの記事を県のウェブサイトやSNS等で発信

あきた女性の活躍 応援ネット

■男性の育児休業の取得促進

- 男性が育児休業を取得しやすい環境整備や男性の家事・育児参画を推進するための企業向けセミナー開催
- 家族で楽しみながら家事や育児に取り組む環境整備や男性でも利用可能な「こどものえき」を整備する事業者への支援

(3)地域社会における女性の参画拡大

■あきたF・F推進員の養成とスキルアップ

- 新規候補者及び更新対象者に対する研修、地域や企業への講師派遣

■男女共同参画連携会議の開催

- 男女共同参画センター、あきたF・F推進員、市町村担当者などによる連携会議を開催

■女性人材の活用促進

- 「秋田県女性人材データバンク」の充実及び活用促進

女性人材
データバンク

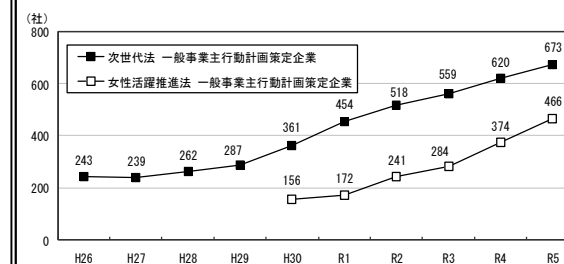
■地域活動における女性の参画を推進

- 女性による新たな活動へのチャレンジやネットワークづくりを支援

◎取組による主な成果

一般事業主行動計画策定企業数の増加

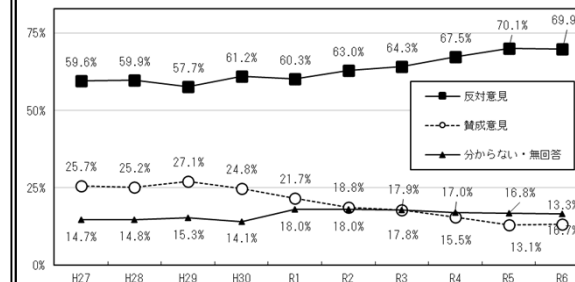
- 企業における女性の活躍推進や両立支援に向けた取組
- 女性活躍推進法に基づく行動計画策定企業数（従業員100人以下）
- 次世代法に基づく行動計画策定企業数（従業員100人以上）



※あきた女性活躍・両立支援センターの企業訪問による働きかけにより、行動計画策定企業数は着実に増加している。
(従業員101人以上の企業は義務化)

県民の男女共同参画に関する意識の変化

- 県民意識調査の結果
- 「男は仕事、女は家庭」という意識への反対意見の割合(%)



男女共同参画の意識が徐々に浸透し、反対意見の割合は上昇傾向となっている。